

## 新事務局長からご挨拶

# 懐かしい交流協会の仕事に復帰しました

いざわなおみ  
井澤修美（事務局長）

初めまして！2018年4月1日から新しく習志野市国際交流協会の事務局長として働くことになりました井澤修美です。

実は、もう30年も前のことになりますが、習志野市の姉妹都市であるタスカルーサ市が初めて習志野市を訪れた時、私は習志野市の職員として姉妹都市提携や調印式に関わっていました。習志野高校の吹奏楽部と一緒にタスカルーサ市を訪問し、素晴らしい演奏にスタンディングオベーションをいただいたことも懐かしい思い出です。協会報であるこの「SQUARE」の編集発行にも関わっていました。そのような訳で、この度、再び姉妹都市交流をはじめとする国際交流協会の仕事に携わることになったことをとても嬉しく思っています。

さて、習志野市国際交流協会では、習志野市の国際交流や国際理解を推進すると共に、国籍の異なる人々が互いの文化の違いを認め合い、支え合いながら共に生きていく「多文化共生」の地域づくりに寄与しています。その実現のため、現在「国際交流部会」「文化交流部会」「日本語教室部会」「外国人支援部会」

「広報青年部会」という5つの部会が様々な活動を行っています。また、事務局では英語・中国語・韓国語などの講座を開催しています。

今年度は6月に姉妹都市から青少年の受入事業が実施され、7月19日から8月1日まではタスカルーサ市への習志野市青少年海外派遣事業が行われます。そのような国際交流協会の事業の数々は、多くの会員の皆さんの活動に支えられています。

会員の皆さん、協会で自分のやりたいことは見つかりましたか？部会のことでは何かわからないことがあればご相談いただきたいと思います。また、いろいろなご意見を事務局にお寄せください。習志野市国際交流協会の活動をより良いものとするため、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

